

白内障・緑内障・ドライアイ



なにかと目を酷使しがちな現代人。疲れ目は放置しておくとも慢性的な疲れ目である眼精疲労にすすみ、さらに眼精疲労が緑内障や白内障などの深刻な目の病気を引き起こします。目の疲労は適切な栄養をとること、目を休ませること、目の周りをマッサージすること、目のための栄養素を補うことなどで、かなり改善されます。

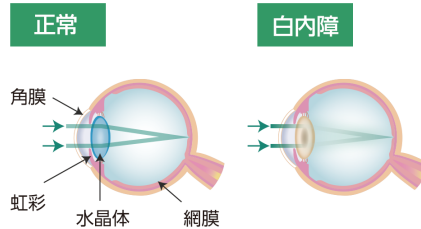
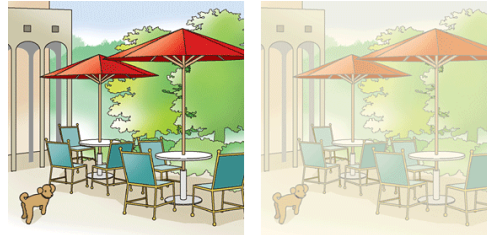
白内障

目の中で、レンズの役割をする部分を「水晶体」といい、この水晶体が濁ってくる病気が白内障です。壮年期から老年期に多くみられる代表的な病気のひとつです。水晶体の濁りが進行すると手術による治療が必要になりますが、現在は医療もかなり進歩し、手術も簡単になってきました。

＝白内障の症状＝

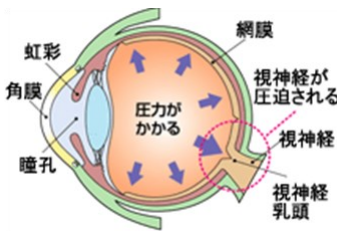
最初に出る症状は、■屋外でまぶしさを感じる、■光を背にした人の顔がわからない、■反射するものの見え方が悪くなる、などです。これは水晶体の濁りが光を乱反射させて見えにくくなるからです。水晶体の濁りが進めば、「目のかすみ」や、ものが二重に見えたり、視力が落ちてきます。白内障の原因で最も多いのは、加齢によるもので、一般に老人性白内障と呼ばれています。早い人では40歳代からはじまり、80歳代になると大部分の人が白内障になるといわれているほど、一般的な目の病気です。強い日差しのもとではサングラスをかけるなど予防につとめましょう。

白内障になると右図のようにかすんで見えてきます。



緑内障

眼圧が高くなり、そのために視神経が侵され視野が狭くなったり、部分的に見えなくなったりする病気です。眼圧とは眼球の硬さ、張りのことで、この眼圧が高くなると視神経の付け根である視神経乳頭という部分が圧迫されます。すると視神経の一部が壊死し、その視神経とつながっている神経線維が脳に伝わらなくなり、見えない部分が生じてくるのです。一度侵された視神経は二度と回復しません。厄介なのは、急性の緑内障以外は自覚症状がほとんどないため、発見が遅れてしまうことです。なぜなら、日常生活では両眼でもものを見ているため、片方の眼だけでもものを見る機会はほとんどありません。そのため、片方の眼の視野が一部欠けていたとしても、もう片方の眼で見えないところを補っているのです。気がつかないことが多いのです。ですから、少しでもおかしいと思ったら眼科専門医による検査を受け、早期に発見し、治療を開始する事が大切です。



ドライアイ

ドライアイ（目の乾き）とは、何らかの原因で、目を保護する涙の量が少なくなったり、涙の成分バランスが変化することにより、目が乾燥し、目の表面に障害が生じる目の状態のことをいいます。

＝ドライアイの症状＝

■目の乾燥感 ■ゴロゴロ感 ■目の痛み ■まぶしさ ■目の疲れ ■白目の充血など。
■涙が止まらない ■目やにが出るなど。
ドライアイは、いろいろな原因によって涙の量が少なくなったり、涙の働きが悪くなったりすることで、目の表面にある「涙液層」がくずれ、乾燥した目の表面部分に傷ができてしまう病気です。

＝ドライアイの原因＝

■パソコンのモニターなどを見続ける ■乾燥した空気の部屋 ■加齢（老眼、更年期） ■コンタクトレンズの過剰使用 ■他の病気によるもの ■薬の影響（血圧を下げる薬や精神疾患に使われる薬）その他、複数の目薬を使用している場合にもおきることもあります。

マグナスの目のサプリメント

【お召し上がり方】
一日に2粒を目安に水又はぬるま湯でお摂り下さい。

\$90 SRP /
60 capsules



Eye Crocetin V は目と脳に必要な栄養成分を高品質な材料で、贅沢に配合した目のためのサプリメントです。クロセチンとビルベリーエキスを主成分に、ビタミンA、ビタミンB群、ルテイン、DHA、EPA、そしてγオリザノールを配合しました。